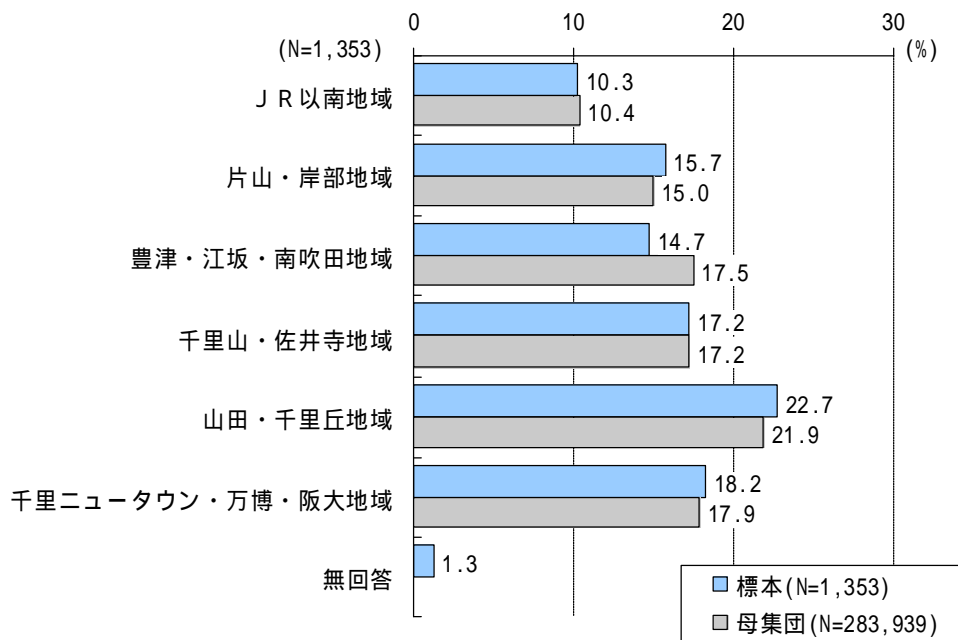


第2章 回答者の基本属性

1. 居住地域・性別・年齢

〔1〕居住地域

【図2-1-1 居住地域】



回答者の居住地域については、「山田・千里丘地域」が22.7%と最も高く、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」が18.2%、「千里山・佐井寺地域」が17.2%、「片山・岸部地域」が15.7%、「豊津・江坂・南吹田地域」が14.7%、「JR以南地域」が10.3%となっている。

母集団と比較しても、両者の間に大きな違いはみられない。(図2-1-1)

〔2〕性別

【表2-1-2 居住地域別 性別】

		標本				母集団 (%)		
		N	女性	男性	無回答	人口	女性	男性
全体		1,353	54.5	44.4	1.0	283,939	51.8	48.2
居住地域別	JR以南	139	59.7	36.7	3.6	29,542	51.7	48.3
	片山・岸部	212	50.9	48.6	0.5	42,704	51.2	48.8
	豊津・江坂・南吹田	199	49.2	50.8	-	49,800	49.9	50.1
	千里山・佐井寺	233	56.7	42.5	0.9	48,809	51.7	48.3
	山田・千里丘	307	54.4	44.6	1.0	62,233	51.9	48.1
	千里NT・万博・阪大	246	56.5	42.3	1.2	50,851	54.4	45.6
	無回答	17	64.7	35.3	-	-	-	-

回答者の性別は、「女性」が54.5%、「男性」が44.4%となっている。

居住地域別でみると、〔豊津・江坂・南吹田地域〕は「女性」(49.2%)より「男性」

(50.8%)のほうが多いが、それ以外の地域では女性のほうが多くなっている。

母集団においても、全体は「女性」(51.8%)のほうが多い。居住地域別では、〔豊津・江坂・南吹田地域〕では、標本は「女性」が49.2%と「男性」(50.8%)より少ないが、母集団では「女性」が49.9%、「男性」が50.1%でほぼ同率となっている。また、〔JR以南地域〕と〔千里山・佐井寺地域〕では標本と母集団の差が大きくなっている。(表2-1-2)

〔3〕年齢

【表2-1-3 性別・居住地域別 年齢】

		(%)								
		N	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	平均値(歳)
	標本	1,353	11.1	17.9	17.7	15.2	19.4	17.4	1.4	51.2
	母集団	283,939	16.5	19.8	18.5	14.3	16.8	14.2	-	-
性別	女性	738	9.9	20.3	17.2	16.1	17.9	17.8	0.8	51.2
	男性	601	12.8	15.3	18.6	14.5	21.5	17.3	-	51.3
	無回答	14	-	-	-	-	7.1	-	92.9	63.0
居住地域別	JR以南	139	12.9	12.2	17.3	14.4	18.0	20.9	4.3	52.4
	片山・岸部	212	9.9	20.8	13.7	14.6	22.2	17.9	0.9	51.8
	豊津・江坂・南吹田	199	9.5	20.1	19.6	16.6	18.6	15.6	-	50.7
	千里山・佐井寺	233	10.7	20.2	23.6	15.0	16.3	13.3	0.9	48.8
	山田・千里丘	307	13.7	18.6	17.3	16.6	21.5	11.4	1.0	49.2
	千里NT・万博・阪大	246	9.3	14.6	14.6	13.0	19.5	27.2	1.6	55.1
	無回答	17	11.8	5.9	17.6	23.5	5.9	23.5	11.8	53.7

回答者の年齢は、「60歳代」が19.4%と最も多く、次いで「30歳代」が17.9%、「40歳代」が17.7%、「70歳以上」が17.4%、「50歳代」が15.2%、「30歳未満」が11.1%となっている。

性別で見ると、女性は「30歳代」(20.3%)が、男性は「60歳代」(21.5%)が最も多くなっている。

居住地域別で見ると、〔JR以南地域〕と〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕は「70歳以上」が、〔片山・岸部地域〕、〔山田・千里丘地域〕は「60歳代」が最も多く、回答者の平均年齢は〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕で55.1歳と最も高くなっている。

母集団と比較すると、40歳代までは標本の割合のほうが低いが、50歳以上では標本の割合のほうが高くなっている。(表2-1-3)

2 . 職業・主な通勤・通学地

〔 1 〕 職業

【表 2-2-1 性別・年齢別・居住地域別 職業】

			(%)										
		N	常時雇用者	臨時雇用者	派遣社員	内職	自営業主、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職	無回答
全 体		1,353	28.6	15.7	1.3	0.1	5.9	0.9	3.4	3.9	20.1	18.3	1.8
性別	女性	738	17.3	20.6	1.9	0.1	2.8	1.2	1.4	3.1	36.4	14.0	1.1
	男性	601	42.9	10.1	0.5	-	9.8	0.5	5.8	5.0	0.5	24.0	0.8
	無回答	14	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	85.7
年齢別	30歳未満	150	37.3	13.3	2.0	-	1.3	-	-	32.7	4.0	9.3	-
	30歳代	242	48.3	13.2	2.1	0.4	3.3	0.8	2.5	1.7	23.6	3.7	0.4
	40歳代	239	43.1	24.3	2.5	-	5.9	0.8	2.1	-	15.9	5.0	0.4
	50歳代	206	36.9	21.8	0.5	-	6.3	1.5	5.8	-	18.4	8.3	0.5
	60歳代	262	11.5	18.3	0.8	-	12.2	1.5	6.5	-	25.6	23.7	-
	70歳以上	235	0.9	3.8	-	-	4.7	0.4	2.6	-	28.1	56.6	3.0
	無回答	19	15.8	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	78.9
居住地域別	J R以南	139	24.5	15.1	0.7	-	7.9	1.4	2.2	3.6	19.4	20.1	5.0
	片山・岸部	212	26.4	16.5	0.9	0.5	7.5	1.4	2.8	2.8	18.9	21.2	0.9
	豊津・江坂・南吹田	199	33.7	16.1	3.5	-	6.0	1.0	4.5	2.5	16.6	16.1	-
	千里山・佐井寺	233	29.6	19.7	1.3	-	5.2	-	3.4	3.9	19.3	15.9	1.7
	山田・千里丘	307	32.9	14.0	1.0	-	4.9	0.3	3.6	5.5	20.8	15.3	1.6
	千里NT・万博・阪大	246	22.4	13.8	0.4	-	4.9	1.6	3.7	4.5	23.6	23.2	2.0
	無回答	17	29.4	11.8	-	-	11.8	-	-	-	29.4	5.9	11.8

調査票では、それぞれ以下のとおりである。

「常時雇用者」：常時雇用されている一般従業者

「臨時雇用者」：臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員

「無職」：無職（学生、専業主婦・主夫を除く）

回答者の主な職業は、「常時雇用者」が28.6%で最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が20.1%、「無職」が18.3%、「臨時雇用者」が15.7%と続いている。「常時雇用者」から「経営者、重役、役員」までの“就業者”の割合は55.9%、“無業者”（学生、専業主婦・主夫、無職）の割合は42.3%となっている。

性別で見ると、女性は「専業主婦・主夫」が36.4%で最も多く、次いで「臨時雇用者」（20.6%）となっている。一方、男性は「常時雇用者」が42.9%で最も多く、次いで「無職」（24.0%）となっている。

年齢別で見ると、50歳代までは「常時雇用者」が3~4割台を占め最も多く、60歳代は「専業主婦・主夫」（25.6%）が、70歳以上は「無職」（56.6%）が最も多くなっている。

居住地域別で見ると、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕は「専業主婦・主夫」（23.6%）が最も多いが、それ以外の地域では、「常時雇用者」が最も多くなっている。（表2-2-1）

〔 2 〕 主な通勤・通学地

【表 2-2-2 性別・年齢別・居住地域別 主な通勤・通学地】

			(%)													
		N	大阪市	吹田市	豊中市	箕面市	池田市	茨木市	高槻市	摂津市	その他の大阪府内	京都府	兵庫県	その他	通勤・通学先はない	無回答
全体		1,353	21.7	21.4	3.6	1.0	0.4	1.8	0.8	1.2	3.3	1.7	2.6	2.7	22.8	14.9
性別	女性	738	15.9	22.4	4.1	1.2	0.1	1.5	0.5	0.9	1.5	0.7	1.1	1.5	30.2	18.4
	男性	601	29.5	20.8	3.0	0.7	0.7	2.3	1.2	1.5	5.3	3.0	4.5	4.3	14.3	9.0
	無回答	14	-	-	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	85.7
年齢別	30歳未満	150	29.3	20.0	3.3	2.7	0.7	4.0	2.0	2.7	7.3	4.7	5.3	5.3	9.3	3.3
	30歳代	242	34.3	19.4	3.7	1.2	-	2.1	0.8	1.2	4.1	1.7	4.1	1.2	21.9	4.1
	40歳代	239	28.9	28.0	5.9	1.7	1.3	0.8	0.4	1.7	3.3	2.9	2.5	3.8	15.9	2.9
	50歳代	206	25.2	27.7	5.8	1.0	-	3.4	1.0	1.0	2.9	1.9	1.9	3.4	17.5	7.3
	60歳代	262	14.9	23.7	3.1	-	0.4	1.5	0.8	1.1	1.9	0.4	2.3	1.9	30.2	17.9
	70歳以上	235	2.6	10.6	0.4	-	-	0.4	-	-	1.3	-	0.4	2.1	37.9	44.3
	無回答	19	5.3	10.5	-	-	-	-	5.3	-	5.3	-	-	-	-	73.7
居住地域別	J R以南	139	17.3	24.5	1.4	-	-	1.4	1.4	1.4	3.6	2.2	2.2	1.4	21.6	21.6
	片山・岸部	212	21.7	26.9	1.9	-	-	-	0.9	1.9	2.8	1.9	1.4	2.4	30.2	8.0
	豊津・江坂・南吹田	199	25.1	27.1	3.5	1.5	0.5	1.0	-	0.5	2.5	1.0	3.0	4.0	18.6	11.6
	千里山・佐井寺	233	24.5	21.9	6.4	1.7	0.4	0.9	0.4	0.9	3.9	2.1	1.3	1.7	20.2	13.7
	山田・千里丘	307	20.8	16.3	2.6	0.3	0.7	5.2	1.3	2.0	3.3	2.3	4.2	4.6	22.5	14.0
	千里NT・万博・阪大	246	19.9	15.0	5.3	2.0	0.4	1.2	0.8	0.4	3.7	0.8	2.8	1.6	24.4	21.5
	無回答	17	23.5	41.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8	23.5

回答者の主な通勤・通学地は、「通勤・通学先はない」が22.8%と最も多く、次いで「大阪市」が21.7%、「吹田市」が21.4%と続いている。

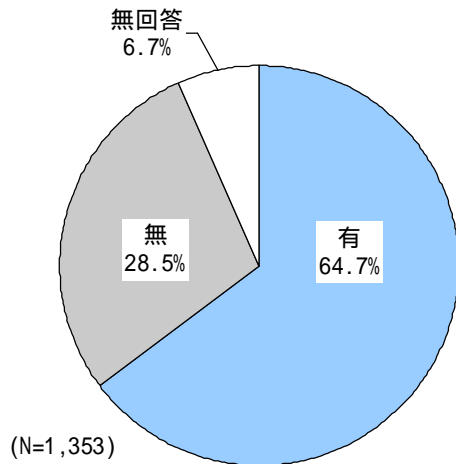
性別で見ると、女性は「通勤・通学先はない」(30.2%)が最も多く、次いで「吹田市」(22.4%)となっている。一方、男性は「大阪市」(29.5%)が最も多く、次いで「吹田市」(20.8%)となっている。

年齢別で見ると、40歳代までは「大阪市」が最も多く、50歳代は「吹田市」、60歳以上は「通勤・通学先はない」が最も多くなっている。

居住地域別で見ると、〔JR以南地域〕と〔豊津・江坂・南吹田地域〕は「吹田市」が、〔千里山・佐井寺地域〕は「大阪市」がそれぞれ最も多くなっている。(表2-2-2)

3 . 世帯人員

【図 2-3-1 配偶者の有無】



【表 2-3-2 同居家族の続柄別の人数】

(単位:人)

	N	平均人数
配偶者	876	1.00
祖父	21	0.29
祖母	34	0.59
父	200	0.92
母	257	0.95
兄弟	69	0.84
弟妹	76	0.86
子ども	576	1.57
孫	47	1.15
その他	60	1.22

【表 2-3-3 世帯人員】

(%)

N	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
1,353	15.0	30.1	24.4	21.4	7.2	1.6	0.1	0.1	-	0.1

配偶者がいる人が64.7%と6割台を占めるのに対し、「無」は28.5%となっている。(図 2-3-1)

世帯人員は、「2人」が30.1%で最も多く、次いで「3人」が24.4%、「4人」が21.4%、「1人」が15.0%となっている。また、回答者の子どもは平均1.57人、孫は1.15人となっている。(表2-3-2~3)

4 . 家族構成

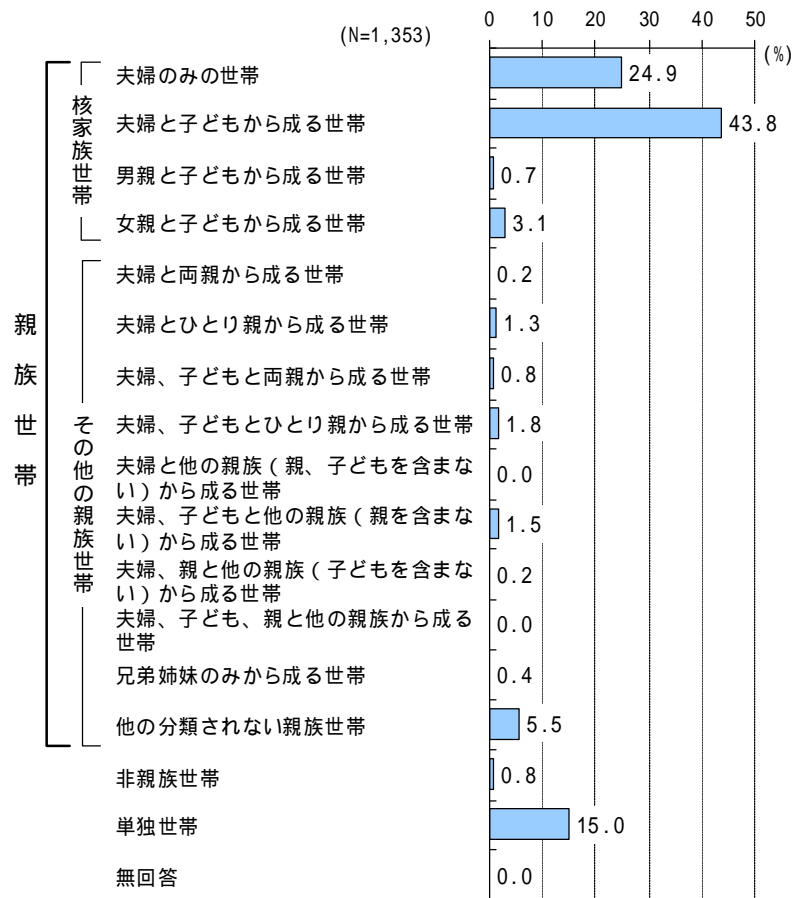
〔 1 〕 全体

【表 2-4-1 年齢別の人数】

(単位:人)

	N	平均人数
就学前	148	1.16
小学生	171	1.21
中学生	110	0.92
15～24歳	234	1.27
25～34歳	244	1.09
35～44歳	269	1.01
45～54歳	280	1.11
55～64歳	329	1.10
65～74歳	251	1.06
75～84歳	125	1.01
85歳以上	66	0.74

【図 2-4-2 家族構成】



回答者の世帯員の年齢構成別の平均人数をみると、15～24歳が1.27人で最も多く、次いで小学生が1.21人、就学前児童が1.16人となっている。(表2-4-1)

家族構成をみると、「夫婦と子どもから成る世帯」が43.8%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」(24.9%)で、核家族世帯が全体の72.5%を占めている。(図2-4-2)

〔 2 〕 15歳未満の親族がいる世帯と65歳以上の親族がいる世帯

【表2 4 -3 15歳未満の親族がいる世帯】

	6歳未満の親族がいる世帯		12歳未満の親族がいる世帯		15歳未満の親族がいる世帯	
	N	構成比 (%)	N	構成比 (%)	N	構成比 (%)
夫婦のみの世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦と子どもから成る世帯	115	8.5	206	15.2	245	18.1
男親と子どもから成る世帯	1	0.1	2	0.1	3	0.2
女親と子どもから成る世帯	6	0.4	11	0.8	14	1.0
夫婦と両親から成る世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦とひとり親から成る世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦、子どもと両親から成る世帯	2	0.1	5	0.4	6	0.4
夫婦、子どもとひとり親から成る世帯	2	0.1	3	0.2	8	0.6
夫婦と他の親族（親、子どもを含まない）から成る世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦、子どもと他の親族（親を含まない）から成る世帯	4	0.3	12	0.9	14	1.0
夫婦、親と他の親族（子どもを含まない）から成る世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦、子ども、親と他の親族から成る世帯	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹のみから成る世帯	-	-	-	-	-	-
他の分類されない親族世帯	2	0.1	3	0.2	6	0.4
非親族世帯	-	-	-	-	-	-
単独世帯	-	-	-	-	-	-
合計	132	9.8	242	17.9	296	21.9
全体	1,353	-	1,353	-	1,353	-

「15歳未満の親族がいる世帯」は、全体の21.9%で、うち「6歳未満の親族がいる世帯」が9.8%、「12歳未満の親族がいる世帯」は17.9%となっている。いずれも夫婦と子どもから成る世帯の割合が高い。（表2 4 -3）

【表2-4-4 65歳以上の親族がいる世帯】

	65歳以上の親族がいる世帯		75歳以上の親族がいる世帯		85歳以上の親族がいる世帯	
	N	構成比(%)	N	構成比(%)	N	構成比(%)
夫婦のみの世帯	155	11.5	43	3.2	8	0.6
夫婦と子どもから成る世帯	106	7.8	40	3.0	10	0.7
男親と子どもから成る世帯	1	0.1	1	0.1	-	-
女親と子どもから成る世帯	4	0.3	2	0.1	2	0.1
夫婦と両親から成る世帯	2	0.1	1	0.1	-	-
夫婦とひとり親から成る世帯	16	1.2	14	1.0	10	0.7
夫婦、子どもと両親から成る世帯	11	0.8	8	0.6	-	-
夫婦、子どもとひとり親から成る世帯	21	1.6	17	1.3	9	0.7
夫婦と他の親族(親、子どもを含まない)から成る世帯	-	-	-	-	-	-
夫婦、子どもと他の親族(親を含まない)から成る世帯	15	1.1	7	0.5	4	0.3
夫婦、親と他の親族(子どもを含まない)から成る世帯	2	0.1	2	0.1	2	0.1
夫婦、子ども、親と他の親族から成る世帯	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹のみから成る世帯	1	0.1	-	-	-	-
他の分類されない親族世帯	30	2.2	20	1.5	4	0.3
非親族世帯	1	0.1	-	-	-	-
単独世帯	4	0.3	-	-	-	-
合計	369	27.3	155	11.5	49	3.6
全体	1,353	-	1,353	-	1,353	-

「65歳以上の親族がいる世帯」は、全体の27.3%で、そのうち「75歳以上の親族がいる世帯」は11.5%となっている。「65歳以上の親族がいる世帯」の割合は「夫婦のみの世帯」が11.5%で高い。(表2-4-4)

5 . 世帯年収

【表 2-5-1 居住地域別 世帯年収】

		N	(%)							平均値(万円)	
			250万円未満	250～500万円未満	500～750万円未満	750～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	わからない		無回答
全体		1,353	16.3	30.7	17.1	10.5	9.5	3.5	7.2	5.0	588.0
居住地域別	JR以南	139	20.9	33.8	13.7	5.8	6.5	2.2	10.8	6.5	492.4
	片山・岸部	212	18.4	34.4	14.6	12.7	7.1	1.4	5.7	5.7	527.9
	豊津・江坂・南吹田	199	20.6	31.2	15.1	10.1	10.1	2.5	7.0	3.5	552.7
	千里山・佐井寺	233	14.6	20.6	24.5	12.9	12.9	3.9	6.4	4.3	660.5
	山田・千里丘	307	9.1	30.9	21.2	10.4	11.7	4.6	8.1	3.9	656.5
	千里NT・万博・阪大	246	19.5	35.0	11.4	9.3	6.9	5.7	6.9	5.3	563.1
	無回答	17	5.9	29.4	11.8	11.8	11.8	-	-	29.4	625.0

平均値は、「250万未満」を125万円、「250～500万円未満」を375万円、「500～750万円未満」を625万円、「750～1,000万円未満」を875万円、「1,000～1,500万円未満」を1,250万円、「1,500万円以上」を1,750万円として計算した。

回答者の世帯年収は、「250～500万円未満」が30.7%と最も多く、次いで「500～750万円未満」が17.1%、「250万円未満」が16.3%と続いており、平均金額は588.0万円となっている。

居住地域別でみると、〔千里山・佐井寺地域〕は「500～750万円未満」が最も多いが、それ以外の地域はいずれも「250～500万円未満」が最も多くなっている。また、〔千里山・佐井寺地域〕と〔山田・千里丘地域〕は全体の平均金額を上回っている。(表2-5-1)

6. 住宅種類

【表2-6-1 性別・年齢別・居住地域別 住宅種類】

			(%)									
		N	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション)	民間賃貸 (一戸建て)	民間賃貸 (集合住宅)	公団・公社 (賃貸)	府営・市営 (賃貸)	社宅・寮	その他	無回答	持家比率
全体		1,353	34.1	29.9	1.8	16.4	6.1	5.7	2.7	1.0	2.3	64.0
性別	女性	738	35.6	30.5	1.6	14.2	6.6	5.6	2.3	1.1	2.4	66.1
	男性	601	32.3	29.5	2.0	19.0	5.7	5.7	3.2	1.0	1.8	61.8
	無回答	14	28.6	21.4	-	21.4	-	14.3	-	-	14.3	50.0
年齢別	30歳未満	150	28.7	31.3	0.7	24.0	2.0	4.7	6.0	-	2.7	60.0
	30歳代	242	25.6	29.3	2.5	28.9	7.0	2.1	2.9	0.4	1.2	54.9
	40歳代	239	27.6	33.5	2.9	21.3	4.2	4.6	3.8	0.8	1.3	61.1
	50歳代	206	35.9	36.4	1.5	12.1	3.9	2.9	4.4	0.5	2.4	72.3
	60歳代	262	38.9	33.6	2.3	8.4	8.4	5.7	0.4	1.1	1.1	72.5
	70歳以上	235	46.4	17.0	0.4	6.4	9.8	13.2	-	3.0	3.8	63.4
	無回答	19	26.3	21.1	-	15.8	-	10.5	5.3	-	21.1	47.4
居住地域別	J R以南	139	56.8	7.2	5.8	20.1	0.7	4.3	1.4	1.4	2.2	64.0
	片山・岸部	212	47.2	17.9	1.9	19.3	2.4	3.3	4.2	0.9	2.8	65.1
	豊津・江坂・南吹田	199	37.7	26.1	2.0	26.6	1.0	1.0	3.0	1.0	1.5	63.8
	千里山・佐井寺	233	30.0	30.5	1.7	24.9	4.3	2.1	2.6	1.7	2.1	60.5
	山田・千里丘	307	25.7	57.3	0.3	9.4	0.7	2.9	1.3	0.7	1.6	83.0
	千里NT・万博・阪大	246	20.7	22.4	1.2	3.7	25.6	19.5	3.3	0.8	2.8	43.1
	無回答	17	41.2	17.6	-	23.5	-	-	5.9	-	11.8	58.8

調査票では、それぞれ以下のとおりである。

「持ち家(一戸建て)」：持ち家(一戸建て・タウンハウス)

「民間賃貸(集合住宅)」：民間賃貸(マンション・アパート・文化住宅)

回答者の住宅種類は、「持ち家(一戸建て)」が34.1%と最も多く、次いで「持ち家(マンション)」が29.9%、「民間賃貸(集合住宅)」が16.4%であり、持家比率は64.0%となっている。

性別でみても男女とも「持ち家(一戸建て)」が最も多く、3割台となっている。

年齢別で見ると、50歳代までは「持ち家(マンション)」が最も多いが、60歳以上では「持ち家(一戸建て)」が最も多く、50歳～60歳代で持家比率が70%台となっている。

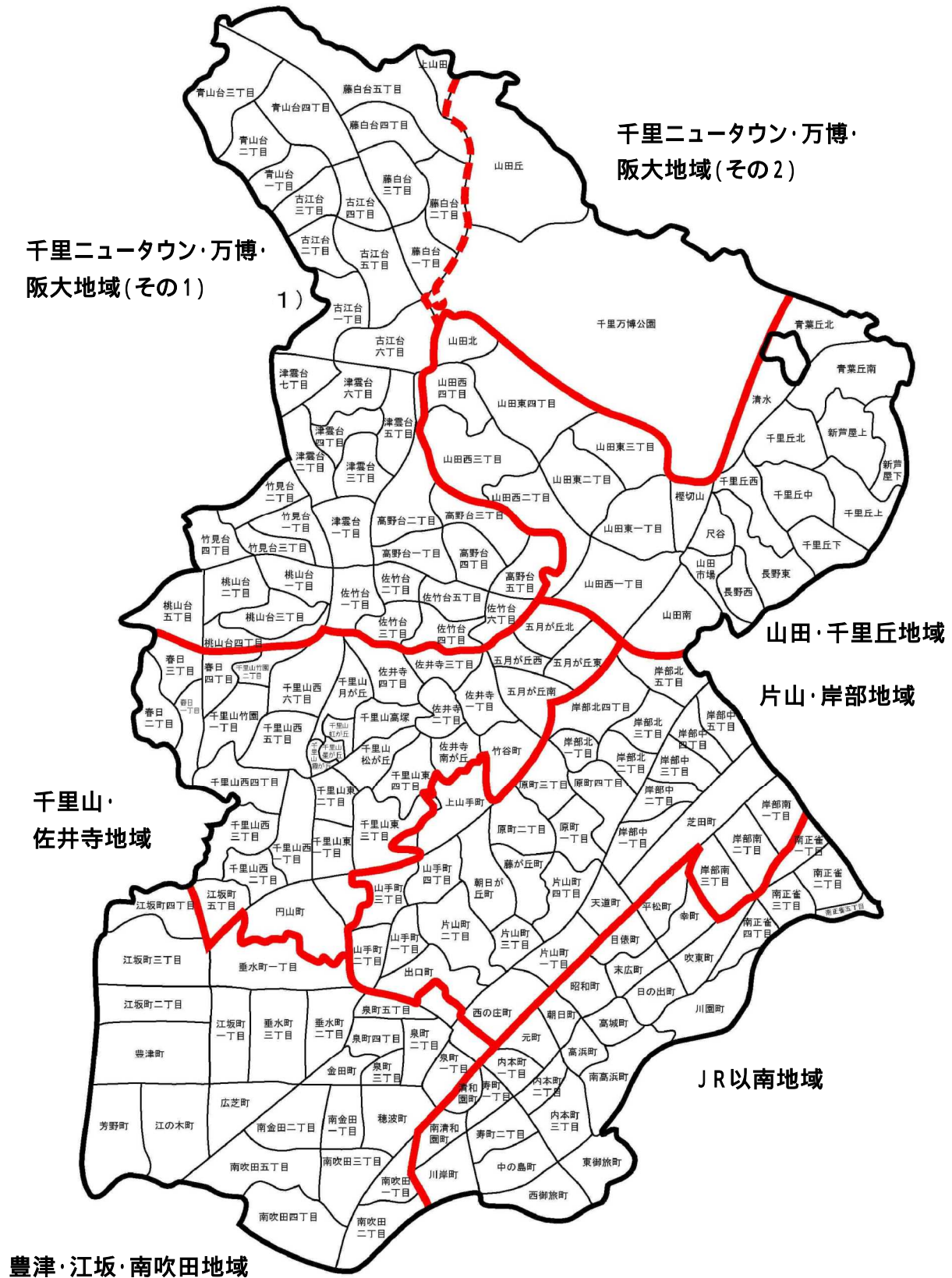
居住地域別で見ると、〔JR以南地域〕、〔片山・岸部地域〕、〔豊津・江坂・南吹田地域〕は「持ち家(一戸建て)」が、〔千里山・佐井寺地域〕、〔山田・千里丘地域〕は「持ち家(マンション)」、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕は「公団・公社(賃貸)」が最も多く、持家比率は〔山田・千里丘地域〕(83.0%)で最も高く、〔千里ニュータウン・万博・阪大地域〕(43.1%)で最も低くなっている。(表2-6-1)

7 . 居住地域別プロフィール

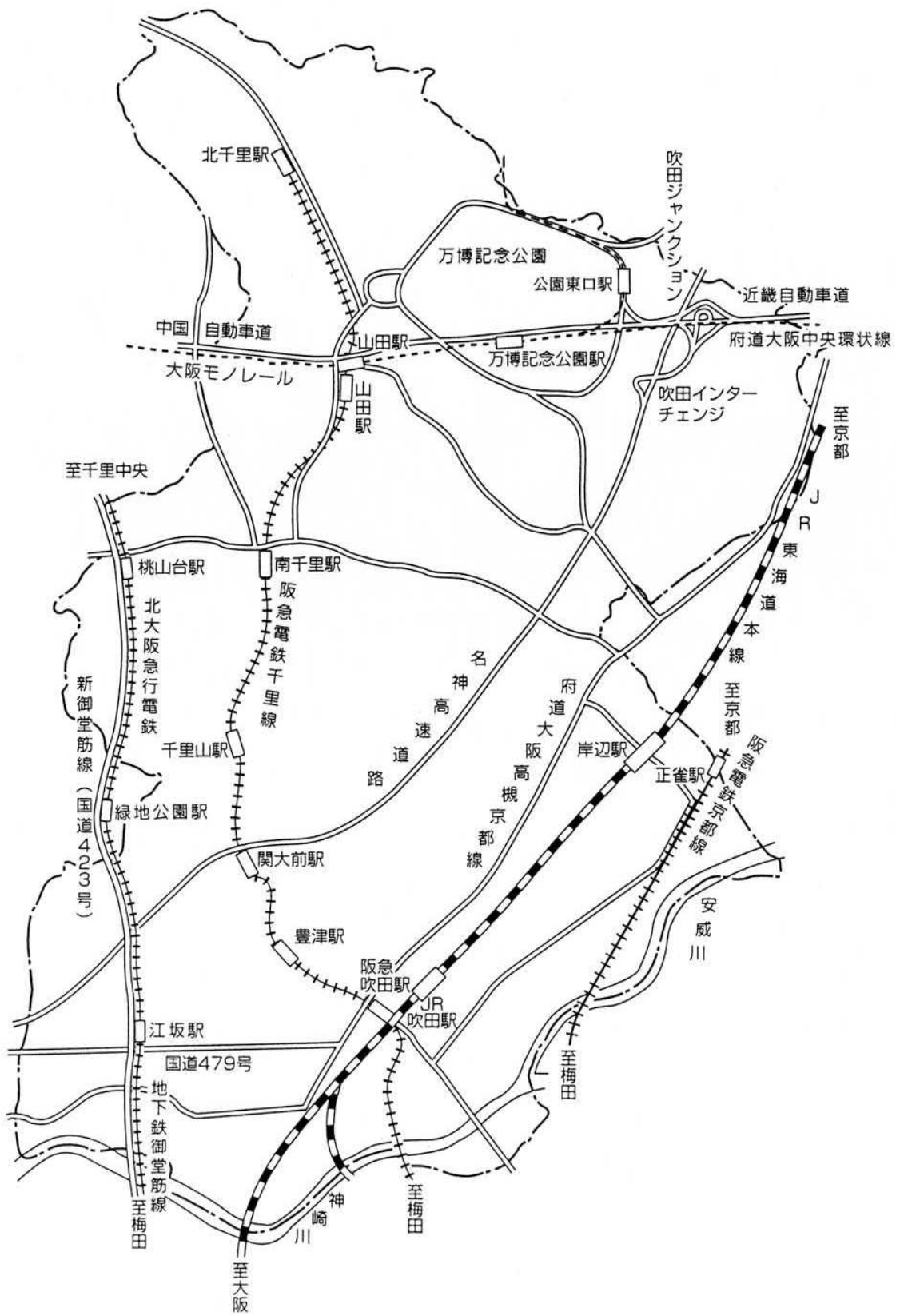
居住地域別町名分類

地 域 名	町 丁 名
J R以南地域	朝日町、内本町、川岸町、川園町、寿町、幸町、昭和町、吹東町、末広町、清和園町、高城町、高浜町、中の島町、西御旅町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀、南清和園町、南高浜町、目俵町、元町
片山・岸部地域	朝日が丘町、片山町、上山手町、岸部北、岸部中、岸部南、芝田町、天道町、出口町、西の庄町、原町、藤が丘町、山手町
豊津・江坂・南吹田地域	泉町、江坂町1～4丁目、江の木町、金田町、垂水町、豊津町、広芝町、穂波町、南金田、南吹田、芳野町
千里山・佐井寺地域	江坂町5丁目、春日、佐井寺、佐井寺南が丘、五月が丘北、五月が丘西、五月が丘東、五月が丘南、千里山霧が丘、千里山高塚、千里山竹園、千里山月が丘、千里山西、千里山虹が丘、千里山東、千里山星が丘、千里山松が丘、竹谷町、円山町
山田・千里丘地域	青葉丘北、青葉丘南、樫切山、清水、尺谷、新芦屋上、新芦屋下、千里丘上、千里丘北、千里丘下、千里丘中、千里丘西、長野西、長野東、山田市場、山田北、山田西、山田東、山田南
千里NT・万博・阪大地域	青山台、上山田、佐竹台、千里万博公園、高野台、竹見台、津雲台、藤白台、古江台、桃山台、山田丘

居住地域別町名分類



調査地域内路線図



居住地域別指標

(番号)		(単位)	J R 以南地域	片山・ 岸部地域	豊津・ 江坂・ 南吹田地域	千里山・ 佐井寺地域	山田・ 千里丘地域	千里N T・ 万博・ 阪大地域	計
1	地域面積	ha	359.4	537.4	538.5	482.0	557.3	1,136.4	3,611.0
2	水面面積		25.3	5.3	11.4	1.7	3.5	17.1	64.3
3	社寺敷地・公開庭園面積		3.1	1.3	0.7	1.8	5.4	0	12.4
4	道路・鉄軌道敷面積		43.2	61.5	43.0	17.9	42.0	83.0	290.7
5	公園面積		10.1	14.9	17.8	4.5	11.9	263.7	322.9
6	コミュニティ等関係施設	箇所	4	3	1	0	3	10	21
7	福祉・保健・病院関係施設		13	21	11	11	16	16	88
8	社会教育・体育関係施設		11	10	8	7	12	11	59
9	事業所		第一次産業	0	0	1	0	0	0
		第二次産業	248	152	576	79	107	63	1,225
		第三次産業	1,572	1,178	3,773	1,127	1,058	741	9,449
		合計	1,820	1,330	4,350	1,206	1,165	804	10,675
10	従業員数	第一次産業	0	0	1	0	0	0	1
		第二次産業	3,814	1,899	9,665	574	1,070	474	17,496
		第三次産業	13,038	15,670	56,697	9,134	9,918	18,887	123,344
		合計	16,852	17,569	66,363	9,708	10,988	19,361	140,841
11	過去1年間(平成22年)の犯罪発生件数	件	680	861	1,205	767	771	600	4,903

(注) 1～4の面積は平成18年度(2006年度)「土地利用現況調査」(都市整備室)による。

3、4、11の数値の計は端数処理や不明処理により各地域計と一致しない。

5は平成22年度(2010年度)版「すいた市政概要」から集計した。

5は広域公園・都市公園・緑地

6～8は市が管理・運営等を行なっている施設

6のコミュニティ等関係施設はコミュニティ・人権・勤労者関係施設

7の福祉・保健・病院関係施設は児童・障がい者・高齢福祉施設等

9、10の事業所数、従業員数は、平成18年(2006年)「事業所・企業統計調査」(政策推進部)による。

11の過去1年(平成22年)間の犯罪発生件数は、吹田警察署資料による。ただし犯罪件数は防犯支部別に集計しており、厳密に6つ居住地域と一致しない。

居住地域別プロフィール

1. JR以南地域

安威川や神崎川を隔てて大阪市と接し水運に恵まれていたことから、交通の要衝として発展し、市内でも早くから開けてきた地域です。吹田発祥の地と言われ、旧集落のまちなみや高浜神社、護国寺等の由緒ある寺社など、かつての面影を残しています。また、JR吹田駅付近は、大正時代の駅移転に伴って旭通商店街が形成されるなど、商業の中心地として発展してきました。

地域の中には、面的整備による比較的整然とした市街地もありますが、多くは自然発生的に形成された市街地となっています。

南西部の神崎川沿いには、大規模な工場や、市民プールやスポーツグラウンドなどのある中の島公園が立地しています。

現在、地域の中央部で都市計画道路・十三高槻線の整備が進められています。

2. 片山・岸部地域

千里丘陵のすそ野にあたり、古来より丘陵の斜面と豊富で良質な粘土を用いて窯業が営まれ、後期難波宮や平安京の造営に用いられた瓦の生産地であったことが知られています。

明治時代には、ビール工場が創業し、大正時代には国鉄吹田操車場が設けられ、「ビールと操車場のまち」とイメージさせた地域です。昭和に入ると「産業道路」と呼ばれる大阪高槻京都線の開通を機に、片山商店街が形成され、住宅地として発展しました。

片山公園とその周辺には中央図書館や市民体育館、総合福祉会館、男女共同参画センター（デュオ）などが集積し、公共施設ゾーンが形成されています。

東部には、大阪学院大学が立地し、また、北東部には由緒ある寺社があり、旧集落の面影を一部に残しています。

現在、この地域では吹田操車場跡地の整備等が進められています。

3. 豊津・江坂・南吹田地域

千里丘陵の南側にあり、地下水が豊富で垂水神社など水にゆかりのある史跡が多くあります。また、地区内の遺跡からは、古代より広域的に交流があったことがうかがえます。千里ニュータウンの開発や万国博覧会の開催を機に国道423号（新御堂筋）や地下鉄御堂筋線の延伸整備が進められ、江坂駅周辺等では土地区画整理事業が行われました。

江坂駅を中心に、北大阪の都心的役割としての商業・業務施設やアミューズメント施設の集積する地区となっていますが、その周辺には旧集落の面影を残したまちなみや、北部には閑静な住宅地が形成されています。また、東部には市役所や文化会館（メイシアター）があり、南部の神崎川沿いには大規模な工場が数多くみられます。

西部の松並木のある高川、中央部の桜並木のある糸田川沿いの緑道は、まちなかでの貴重な緑と水辺の空間となっています。

4 . 千里山・佐井寺地域

市域中央部に位置しており、千里丘陵の起伏に富んだ地形を持ち、古くから尾根筋に佐井寺、谷筋に春日などの集落が形成されてきました。集落内には歴史的なまちなみ、佐井寺伊射奈岐神社や佐井寺など歴史的資源が数多く残されています。

千里山地区は、大正末期に阪急千里線の開通に伴って郊外住宅地として開発され、緑豊かな閑静な住宅地として発展してきました。広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ関西大学は、地域文化や学生向けのにぎわいのある商業地を形成してきました。

佐井寺地区では、古くからの集落が持つ趣を残している市街地に加えて、土地区画整理事業により新しい住宅が多く建設されました。

5 . 山田・千里丘地域

市域東部に位置しており、山田川や旧小野原街道沿いに古くから大きな集落が形成されています。集落内には旧家や由緒ある紫雲寺、圓照寺、山田伊射奈岐神社、太鼓神輿や権六おどりなど、有形、無形の歴史的資源が数多く残されています。

山田西地区では、民間マンションや住宅団地の建設により急速に市街化が進みましたが、ヒメボタルの保存活動や公民館活動などコミュニティ活動が盛んに行われています。また、千里丘地区では企業の厚生施設、毎日放送千里丘放送センターなどの施設がありましたが、現在では、マンション開発などが進んでいます。

阪急山田駅周辺では、地域住民と事業者、行政によるまちづくりが実施され、さらに公共施設の整備により、新たな交流拠点が形成されようとしています。

6 . 千里ニュータウン・万博・阪大地域

竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、日本で初めてのニュータウンとして、大規模開発事業が昭和 30 年代から約 10 年をかけて行われました。集合住宅と戸建住宅による住宅地、地区センターや近隣センターの商業地をはじめ、公園、道路などが計画的に整備され、大阪都心への交通利便性が高いまちとなっています。まちびらきから 50 年ほどが経過した現在では、住宅の建替えが進むなど、時代の変化に対応したまちの更新時期を迎えています。

ニュータウン周辺部ではかつての千里丘陵の竹林や雑木林などが残されており、緑豊かな自然景観が保たれています。北部には国立循環器病研究センターや千里金蘭大学、自然体験交流センターや市民体育館、市民プールなどの施設が立地し、南部でも千里救命救急センターなどの医療施設が立地しています。